

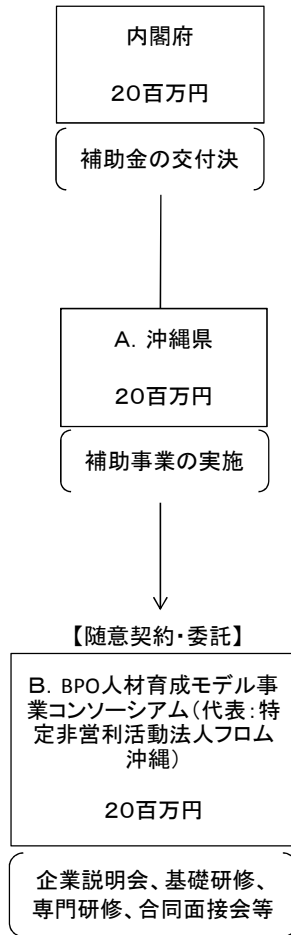
平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	BPO人材育成モデル事業		担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21~23年度		担当課室	企画担当参事官室		参事官 馬場竹次郎		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>近年、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)が注目を集め、日本国内におけるBPO拠点として大きな役割を果たすことが期待されている。</p> <p>そこで、BPO企業へ就職を希望する求職者を対象に訓練を実施し、企業に人材を供給することにより、県内の雇用情勢の改善に寄与することを目的とする。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>基礎研修及び専門研修の実施(各7回開催) 応募者合計236人、受講決定者合計181人、修了者合計146人</p> <p>【基礎研修】パソコン基礎、接客対応、オフィスワーク</p> <p>【専門研修】BPO企業での実地研修 ※BPO企業の参加・協力によって、BPO業務に対応した多様な研修を実施。 (WEB・総合受付事務・受付事務・プログラミング・デバック・金融・VOD・電子MAP)</p> <p>事業主体:沖縄県、補助率:2/3</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	-	23	22	15	-	
		補正予算	-	0	0	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
	計	-	23	22	15	-		
	執行額	-	21	20	-	-		
執行率(%)	-	91%	91%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)	
	就職者数		成果実績	人	-	73	108	120
	達成度 = 成果実績/活動実績		達成度	%	-	37	60	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	受講者数		活動実績(当初見込み)	-	197	181	-	
				-	(210)	(210)	(150)	
単位当たりコスト	112,891(円/人)		算出根拠	執行額(20,433,319円) / 受講者数(181人)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	講師謝金	5百万						
	借料	5百万						
	人件費・旅費等	5百万						
	計	15百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約であるが、沖縄県で審査しているため、妥当であると判断している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	アウトカム指標である就職者数の向上が見られた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>沖縄県でのBPO業務の高まりを受けて開始された本事業は2年目を迎え、初年度よりも研修内容を充実させたことにより、就職率など改善が見られた項目もあり、本事業の必要性や重要性を示している。</p> <p>ただし、昨年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、23年度の事業では、事前説明会等により熱意のある受講生を絞り込み、BPO業務の中でも求人・求職者双方からニーズの大きい分野を選択し、事業を効率的に運用することで、費用対効果・就職率の向上を目指すことにしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>補助先の契約方式が随意契約となっていることから、競争性を高める選定方法を導入できるよう指導すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>平成22年度行政事業レビュー公開プロセス</p> <p>評価結果：大幅な改善を要する。</p> <p>取りまとめコメント： ①人材養成の費用対効果に問題がある。 ②どのような人材を養成するのは、グランドデザインの中での位置づけが必要。</p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	BPO人材育成モデル事業委託費	20			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
研修経費	基礎研修に関する経費、専門研修に関する経費	11			
周知広報費	新聞広告、求人広告、チラシ・ポスター制作費等	2			
その他	事業推進員人件費、交通費、調査費等	4			
面接会経費	合同面接会に係る経費	0.4			
管理費	上記経費に該当しない一般管理費	2			
計		19	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	BPO事業コンソーシアム	BPO業務、広報等	20	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					